

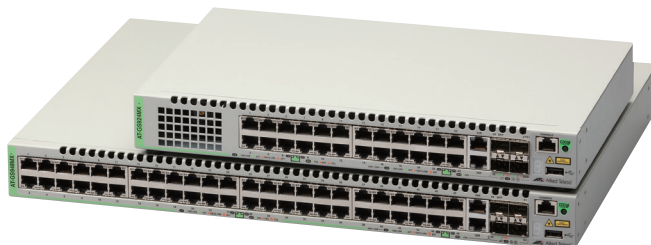
CentreCOM® Secure HUB GS900MX/GS900MPXシリーズ

5年保証

10ギガ 対応

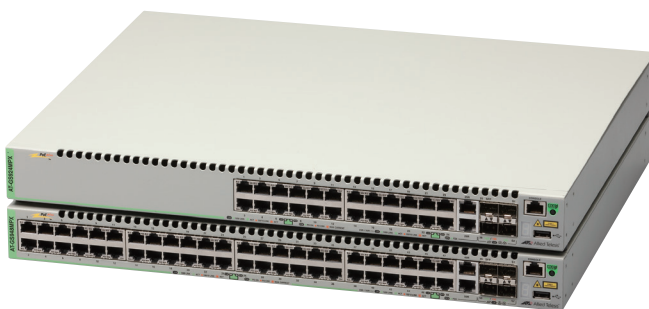
50°C環境対応

IEEE 802.3at
PoE+ 対応



Non-PoE+ モデル
AT-GS924MX
AT-GS948MX

PoE+ モデル
AT-GS924MPX
AT-GS948MPX



SFP+ モジュール
AT-SP10SR
AT-SP10LR
AT-SP10ER40//
AT-SP10ZR80//
AT-SP10TW1



SFP モジュール
AT-SPSX AT-SPSX2
AT-SPLX10 AT-SPLX40 AT-SPZX80
AT-SPBDM-A・B AT-SPBD10-13・14
AT-SPBD80-A・B



スタックモジュール
AT-StackXS/1.0



マネージメントケーブル
AT-VT-Kit3

CentreCOM Secure HUBシリーズは、AMF非対応のデバイスとAMFネットワークをつなげるHUBとして最適なコストパフォーマンスと機能セットを提供します。AMFネットワークのエッジにCentreCOM Secure HUBシリーズを配置し、それらにAMF対応または非対応デバイスを接続することで、AMFによるネットワーク全体の統合管理を適切なコストで実現します。

CentreCOM Secure HUB GS900MX/GS900MPXシリーズは、業界標準コマンドに対応したAlliedWare Plusを実装しながら、ネットワークのエッジレイヤーに最適な機能に絞り込むことで価格を抑えた新しい特長を持つシリーズです。

Non-PoEモデル、PoEモデルと様々なタイプのモデルをラインナップするギガビット・インテリジェント・スタックブルスイッチです。アップリンクポートが10ギガビットに対応しており、広帯域を必要とする高画質のIPカメラへの給電やエッジ・スイッチの集約スイッチとして最適な製品です。また、10ギガビットポートはスタックポートとしても利用でき、優れた拡張性や可用性を提供します。

ファームウェアバージョン5.4.6-2.1以降にてAT-SecureEnterpriseSDN Controller (AT-SESC)に対応。AT-SESCによるアプリケーション連携ソリューション構築を実現します。

本データシートでは、製品名中の「CentreCOM」を一部省略しています。弊社では、ネットワークマネジメントソフトウェア製品のお試し版を、Webサイトから提供しております。弊社ホームページ (<http://www.allied-teleasis.co.jp/support/list/nms/>) からダウンロードできます。

AW Plus AMF

Switch

EPSR LOOP Guard

VCS AMF SEC

10/100/1000T
24/48Ports自動認識

10/100/1000T
2Ports自動認識(コンボ)

SFP
2Slots(コンボ)

SFP+
2Slots

「省エネ法」に基づく表示
区分

A

回線ポートの種類・数

AT-GS924MX : 1Gbps × 26
10Gbps × 2
AT-GS948MX : 1Gbps × 50
10Gbps × 2
AT-GS924MPX : 1Gbps × 26
10Gbps × 2
AT-GS948MPX : 1Gbps × 50
10Gbps × 2

最大実効伝送速度

AT-GS924MX : 46.0Gbps
AT-GS948MX : 70.0Gbps
AT-GS924MPX : 46.0Gbps
AT-GS948MPX : 70.0Gbps

PoE最大供給電力

AT-GS924MPX : 370.0W
AT-GS948MPX : 370.0W

エネルギー消費効率

AT-GS924MX : 0.5W/Gbps
AT-GS948MX : 0.6W/Gbps
AT-GS924MPX : 0.8W/Gbps
AT-GS948MPX : 0.7W/Gbps

OPTION

■ SFPモジュール

■ SFP+モジュール

■ スタックモジュール

■ 壁設置ブラケット

■ L字型電源ケーブル

■ コンソールケーブル

■ フィチャーライセンス

CentreCOM® Secure HUB GS900MX/GS900MPX シリーズ

特長

● AlliedWare Plus (AW+)

機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、旧来方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においても、エンジニアの教育にかかる時間と経費を大幅に削減することができます。

● ネットワークインフラのユニファイド化

Allied Telesis Management Framework (AMF) は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。AMFは統合管理を行うAMFマスターと管理されるAMFメンバーからなり、次の5機能により、ネットワークの統合管理を行います。

● 一元管理(セントライズドマネージメント)

AMFマスターから多数のAMFメンバーを一元管理します。

● 自動構築(オートレジリエントコネクション)

AMFネットワークの自動構築およびAMFメンバーの自動認識を行います。

● 自動復旧(スマートプロビジョニング)

AMFメンバー設置時の自動設定(ゼロタッチインストール)、AMFメンバー故障時における交換機器の自動復旧(オートリカバリー)、複数AMFメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。

● 非AMF装置対応(ワイドエリアバーチャルリンク)

非AMF装置の混在や広域商用回線を介したAMFネットワークの構築が可能です。

● 分散マスター処理(AMFコントローラー)

AMFマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。

GS900MX/GS900MPXシリーズはAMFメンバー装置に対応しており、大容量のPoE受電デバイスを多数収容しての利用や、VCS構成で冗長性を高めた利用など、汎用性が高く、AMFネットワークとAMF非対応機器のエッジネットワークを接続させるHUBとしての役割を持つエッジ・スイッチとして最適です。対応機能を絞り込むことで従来製品よりも低価格での提供が可能のため、AMFによる利便性・工数削減効果だけでなく、導入コストの削減効果を提供します。

● EPSR

EPSR(RFC3619)は、リング構成のネットワークにおいて、レイヤー2レベルでの障害の検出と経路の切り替えをより高速に行います(最短50ミリ秒未満)。本製品は、EPSRリング内にトランジットノードとして接続することができます。

● 幅広い用途に対応

インテリジェント・エッジ・スイッチとして重要となるセキュリティ、認証、省エネ機能など豊富なレイヤー2plus機能に対応しています。

● VCS(バーチャルシャーシスタック)

複数のスイッチを双方向40Gbpsの帯域幅を持つスタックモジュールで接続することにより、1台の仮想スイッチとして扱うことができます。

VCSグループは、最大4台のGS900MX/GS900MPXシリーズを自由に組み合わせで構築できます。スタック接続されたスイッチはバーチャルIPアドレス/MACアドレスを用いてIPアドレス/MACアドレスを共有し、かつL2テーブル、QoS、アクセスリストなどの各種情報を同期することでVCS構成時のマスター/スレーブの高速切替を実現したVCSファストフェイルオーバー(VCS-FF)に対応しています。

よって、仮に1台に障害が発生しても運用継続が可能となり、ネットワークダウン・セッションダウンにシビアな環境やアプリケーションへの適応が可能となります。また、VCSで接続されたスイッチはオールアクティブで稼動するため、ネットワーク資産の有効活用化も実現します。

● ループガード

接続ミスなどで発生するネットワークのループを検出し、設定した動作(ポートディセーブルなど)を自動実行するループガードに対応しています。

● PoE+(IEEE 802.3at)をサポート

従来のPoE(IEEE 802.3af)に加え、大容量給電が可能なPoE+(IEEE 802.3at)に対応しています。装置全体として、370Wまで給電可能なため、PoE+対応無線LANアクセスポイントやネットワークカメラ等の様々なPoE+受電機器が接続可能です。クラス3(15.4W)の受電機器を接続する場合、24ポートまで同時給電可能です。

● 10ギガビットイーサネットモジュール(SFP+)に対応

高速イーサネット技術「10ギガビットイーサネット」に対応。SFP+モジュール対応スロットを2スロット搭載しており、別売のSFP+モジュールを搭載することで、高速/大容量の10ギガビットイーサネット環境を提供します。

● AMF-SECソリューション対応

AMF-SEC(AMF-SECurity)は、ファイアウォールやUTMなどのセキュリティー・アプライアンスや、人材管理・資産管理などのビジネス・アプリケーションなどとネットワーク機器を連携させ、ネットワークも含めたITシステムの設定変更やセキュリティー管理を自動化するソリューションです。

本製品は、AMF-SECソリューションにおけるエッジ・スイッチとして動作し、例えばファイアウォールと連携するとファイアウォールが検知した被疑情報をもとに、該当する被疑端末が接続されているスイッチのポートを自動的に遮断することで被疑端末の隔離ができます。これによりIOT端末などでのLAN内の二次感染を防ぐことが可能です。

※1 サポートするSDN/OpenFlowコントローラーは、AMF-SECコントローラー(AT-SESC/SecureEnterpriseSDN Controller)です。AMF-SECコントローラー、および連携可能なアプリケーションについては、弊社ホームページにてご確認ください。

仕様

準拠規格	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX*1 IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10*1 IEEE 802.3ae 10GBASE-ER/LR/SR*1 IEEE 802.3x Flow Control IEEE 802.3af Power over Ethernet*2 IEEE 802.3at Power over Ethernet+*2 IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet*3 IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree*4 IEEE 802.1Q-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree*5 IEEE 802.1X Port Based Network Access Control IEEE 802.1AB Link Layer Discovery Protocol IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic)*6 IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol		
適合規格	CE 安全規格 UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1 EMI規格 VCCIクラスA EU RoHS指令		
マネージメント*7	SNMP	SNMPv1/v2c/v3	
	SNMP MIB	MIB II (RFC1213) IP Forwarding Table (RFC2096) Extended Bridge MIB (RFC2674)*8 Extended Interface MIB (RFC2863) SNMPv3 MIB (RFC3411~RFC3415) SNMPv2 MIB (RFC3418) PoE MIB (RFC3621)*2 Ethernet MIB (RFC3635) IEEE 802.3 MAUs MIB (RFC3636) BridgeMIB (RFC4188) RSTP MIB (RFC4318) DISMAN ping MIB (RFC4560) Entity MIB (RFC6933) LLDP MIB (IEEE 802.1AB) LLDP-MED MIB (ANSI/TIA-1057) Private MIB	
	RMON	1,2,3,9 Group	
	ターミナル	Telnet, VT100 互換端末(コンソールポート経由)	
通信速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps/10Gbps*1		
ポート		[AT-GS924MX]	[AT-GS948MX]
	10/100/1000BASE-T (RJ-45 コネクター)*9	× 26	× 50
	オートネゴシエーション*10 10M/100M Full/Half固定設定*10、1000M Full固定設定 MDI/MDI-X自動認識、MDI/MDI-X固定設定		
	SFP スロット*9	× 2	× 2
	SFP+ スロット*11	× 2	× 2
	RS-232 (RJ-45 コネクター)*12	× 1	× 1
	USB ポート (USB 2.0、タイプA (メス))*13	× 1	× 1
		[AT-GS924MPX]	[AT-GS948MPX]
	10/100/1000BASE-T (PoE-OUT、RJ-45 コネクター)	× 24	× 48
	10/100/1000BASE-T (RJ-45 コネクター)*9	× 2	× 2
	オートネゴシエーション*10 10M/100M Full/Half固定設定*10、1000M Full固定設定 MDI/MDI-X自動認識、MDI/MDI-X固定設定		
	SFP スロット*9	× 2	× 2
	SFP+ スロット*11	× 2	× 2
	RS-232 (RJ-45 コネクター)*12	× 1	× 1
	USB ポート (USB 2.0、タイプA (メス))*13	× 1	× 1
使用ケーブル	非PoE	PoE*14	PoE+*14
	10BASE-T	UTPカテゴリ-3以上	UTPカテゴリ-5以上
	100BASE-TX	UTPカテゴリ-5以上	UTPカテゴリ-5以上
	1000BASE-T	UTPカテゴリ-5以上	UTPカテゴリ-5以上
切替スイッチ	LED ON/OFF ボタン	LEDの消灯(エコLED)、通常動作の切り替え	
パフォーマンス	スイッチング方式	ストア&フォワード	
	最大パケット転送能力 (装置全体/64Byte)	[AT-GS924MX] 68.44Mpps	[AT-GS948MX] 104.16Mpps
	スイッチング・ファブリック	[AT-GS924MX] 142.9Gbps	[AT-GS948MX] 285.8Gbps
	メモリー容量	フラッシュメモリー	64MByte
		メインメモリー	512MByte
	MACアドレス登録数	16K*15	
	VLAN登録数	4,094個 (VID=1~4,094)	
サポート機能 [ベシック機能]	AMFメンバー機能、AMFエッジノード機能、ハードウェアパケットフィルター、マルチホーミング、VLAN(ポートベース/IEEE 802.1Qタグベース/IPサブネットベース/プロトコルベース)、マルチプルVLAN、QoS(IEEE 802.1p/ポリシーベース/メータリング/シェーピング)、ポートトラッキング(IEEE 802.3ad LACP/Manual Configuration)、		

ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習ユニキャスト/バケットフィルタリング、スパンニングツリー (IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s)、BPDUガード、BPDUフィルター、スパンニングツリーポートファスト、PVST+ Compatibility、イーサネットリングプロテクション(EPSR)、EPSR エンハンストリカバリー、ポート帯域制限、ポートミラーリング、ポートセキュリティ、フローコントロール*16、LLDP、LLDP-MED、Voice VLAN、ループガード(LDF検出/MACスラッシング検出/受信レート検出(QoS ストームプロテクション))、パケットストームプロテクション、IEEE 802.1X 認証モード(Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication)、802.1X 暗号方式(MD5/TLS/TLS/PEAP)、ダイナミックVLAN、エンハンスト ゲストVLAN、Auth-fail VLAN、マルチプルダイナミックVLAN、マルチVLAN セッション、MACアドレスベース認証、Supplicant MAC 認証、Web 認証、プロミスキャス/インターセプトWeb 認証、2ステップ認証、Web Proxy for Web認証、ポート認証設定テンプレート化、ケーブル診断、RADIUSクライアント、TACACS+(Accounting/Authentication/Logging)、IGMPv1/v2/v3 スヌーピング、EAP/BPDU透過、Jumboフレーム対応*17、バーチャルシャーシスタック、スイッチポートレジリエンシーリング、DHCPクライアント、DHCPスヌーピング、Pingポーリング、ARP、SMTP 認証、ログ(外部メディア出力対応)、スクリプト、トリガー、USBトリガー、NTPクライアント、Secure Shell、TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、IPv6 Basic、IPv6-SNMPv1/v2c/v3、MLDv1/v2スヌーピング、NTPv6クライアント、DNSv6クライアント、DHCPv6クライアント、DHCPv6-PD、RAガード、HOLブロッキング防止、Findme、UDLD

サポート機能 [ライセンス機能]	SES Readyライセンス (AT-GS900MX-FL16)			
LED	AT-SESCによるフロッスイッチング制御*18			
	ポートLED*19 [AT-GS924MX / AT-GS948MX]			
	10/100/1000BASE-T ポート			
	L/A	緑	1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
		橙	10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	D/C	緑	Full Duplexでリンク確立時に点灯	
		橙	Half Duplexでリンク確立時に点灯、コリジョン発生時に点滅	
	10/100/1000BASE-T コンポポート			
	L/A	緑	1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
		橙	10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	DPX	緑	Full Duplexでリンク確立時に点灯	
	ポートLED*19 [AT-GS924MPX / AT-GS948MPX]			
	10/100/1000BASE-T PoE ポート			
	L/A	緑	1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
		橙	10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	POE	緑	受電機器へのPoE電源供給時に点灯	
		橙	受電機器の異常発生時に点灯、PoE電源の電力使用量が最大供給電力を上回ったことによるポートへの給電停止時に点滅	
	10/100/1000BASE-T コンポポート			
	L/A	緑	1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
		橙	10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	DPX	緑	Full Duplexでリンク確立時に点灯	
	SFP スロットLED*19			
	L/A	緑	SFPを介して1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
		橙	SFPを介して1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	SFP+ スロットLED*19			
	L/A	緑	SFP+/スタックモジュールを介して10Gbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	ステータスLED (7セグメントとドットによる表示)			
		緑	VCS機能が無効で、単体での動作時に点灯	
		緑	VCS機能が有効で、スタックメンバーとして動作時に点灯 (数字はスタックメンバーID)	
		緑	ファンまたは内部温度の異常発生時に点灯	
		緑	LED ON/OFF ボタンによるLED OFF設定時に点灯。横3セグメントは以下の状態を表示 上:スタックメンバーのマスターとして動作 中:VCS機能が無効で、単体で動作 下:スタックメンバーのスレーブとして動作	
		緑	USBメモリー接続時に点灯、USBメモリーの書き込み/読み出し中に点滅	
		緑	本製品の起動中に点灯	
電源部	[AT-GS924MX]	[AT-GS948MX]	[AT-GS924MPX]	[AT-GS948MPX]
定格入力電圧	AC100-240V*20			
入力電圧範囲	AC90-264V*20			
定格周波数	50/60Hz			
定格入力電流	1.0A	1.0A	5.0A	5.0A
最大入力電流 (実測値)*21	0.79A	0.8A	6.0A	6.2A
平均消費電力*21	31W (最大38W)	57W (最大70W)	260W (最大530W)	270W (最大550W)
平均発熱量*21	110kJ/h (最大140kJ/h)	210kJ/h (最大250kJ/h)	920kJ/h (最大1900kJ/h)	970kJ/h (最大1960kJ/h)
PoE	給電方式 オルタナティブA			
	最大供給電力	1ポートあたり	30W	
		装置全体	370W	

CentreCOM® Secure HUB GS900MX/GS900MPX シリーズ

仕様

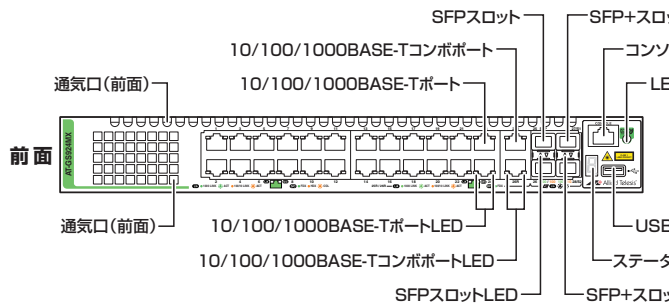
環境条件	動作時温度	0～50℃			
	動作時湿度	5～90% (結露なきこと)			
	保管時温度	-25～70℃			
	保管時湿度	5～95% (結露なきこと)			
外形寸法 (突起部含まず)	[AT-GS924MX]	[AT-GS948MX]	[AT-GS924MPX]	[AT-GS948MPX]	
	340 (W) × 213 (D) × 44 (H) mm	440 (W) × 308 (D) × 44 (H) mm	440 (W) × 359 (D) × 44 (H) mm	440 (W) × 359 (D) × 44 (H) mm	
	[AT-GS924MX]	[AT-GS948MX]	[AT-GS924MPX]	[AT-GS948MPX]	
	2.5kg	4.5kg	5.3kg	5.8kg	
パッケージ内容 ^{※12}	本体、電源ケーブル ^{※20} 、電源ケーブル抜け防止フック、19インチラックマウントキット (1式)、本製品をお使いの前に、梱包内容、英文製品情報 ^{※22} 、製品保証書 (5年間)、シリアル番号シール (2枚)				
オプション (別売)	AT-GS900MX-FL16	SES Ready ライセンス ^{※18} ^{※23}			
	SFP モジュール:				
	AT-SPSX	1000BASE-SX (2連LCコネクタ)			
	AT-SPSX2	1000M MMF (2km) (2連LCコネクタ)			
	AT-SPLX10	1000BASE-LX (2連LCコネクタ)			
	AT-SPLX40	1000M SMF (40km) (2連LCコネクタ)			
	AT-SPZX80	1000M SMF (80km) (2連LCコネクタ)			
	AT-SPBDM-A・B	1000M MMF (550m) (LCコネクタ)			
	AT-SPBD10-13・14	1000BASE-BX10 (LCコネクタ)			
	AT-SPBD80-A・B	1000M SMF (80km) (LCコネクタ)			
	SFP+ モジュール ^{※24} :				
	AT-SP10SR	10GBASE-SR (2連LCコネクタ)			
	AT-SP10LR	10GBASE-LR (2連LCコネクタ)			
	AT-SP10ER40/I	10GBASE-ER (2連LCコネクタ)			
AT-SP10ZR80/I	10G SMF (80km) (2連LCコネクタ)				
AT-SP10TW1	SFP+ダイレクトアタッチケーブル(1m) ^{※25}				
AT-StackXS/1.0	カッパースタックモジュール (1m)				
AT-BRKT-J22	壁設置ブラケット				
コンソールケーブル ^{※12} :					
AT-VT-Kit3	マネージメントケーブル (RJ-45 (メス) / USB)				
CentreCOM VT-Kit2	RS-232ケーブル (RJ-45/D-Sub 9ピン)				
AT-PWRCBL-J01L/J01R	L字型コネクタ電源ケーブル (左/右) ^{※26}				

- ※1 対応SFP/SFP+モジュール装着時
- ※2 AT-GS924MPX / AT-GS948MPXのみ
- ※3 10/100/1000BASE-Tポートのみ
- ※4 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree 包含
- ※5 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree 包含
- ※6 IEEE 802.3ad と同等
- ※7 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※8 Q-BRIDGE-MIBのみサポート
- ※9 10/100/1000BASE-Tポートのうち2ポートはSFPスロットとのコンボ (共用) ポート

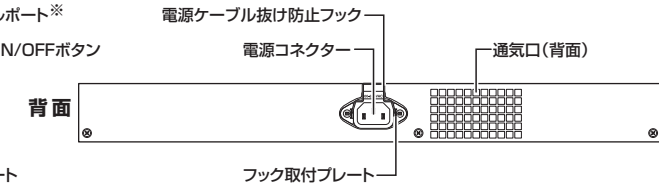
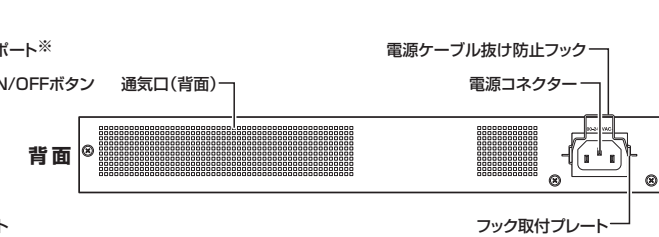
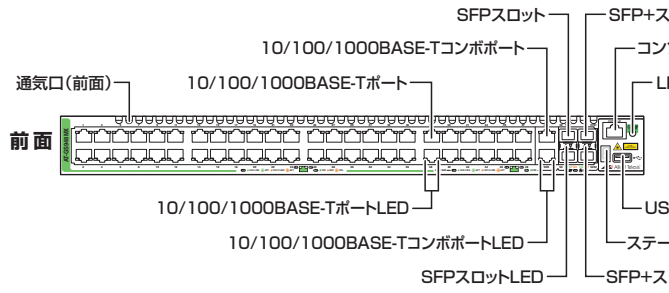
- ※10 10/100/1000BASE-Tコンボポートは10/100/1000M Full Duplexでの接続のみサポートしています。
- ※11 SFP+スロットはスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選ぶことができます。VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります。
- ※12 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネージメントケーブル「AT-VT-Kit3」またはRS-232ケーブル「CentreCOM VT-Kit2」をご用意ください (AT-VT-Kit3には、別売のUTPケーブルが必要です)。なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※13 USB 2.0のUSBメモリーをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。
- ※14 8線結線のストレートタイプのUTPケーブルをお勧めします。
- ※15 表中では、K=1024
- ※16 VCS構成時は、PAUSEフレームの送信 (both) はサポート対象外で、PAUSEフレームの受信 (receive) のみをサポート
- ※17 9216Byte以下
- ※18 ファームウェアバージョン5.4.6-2.1以降にてサポート。サポートするSDNコントローラーは、AT-SecureEnterpriseSDN Controller (AT-SESC) です。本ライセンス適用時の、フロースイッチング制御以外の機能動作については、弊社ホームページに掲載のマニュアルおよびコマンドリファレンスをご確認ください。なお、ファームウェアバージョン5.4.7-0.x、5.4.7-2.xのそれぞれでライセンス形態が変更されています。5.4.6で発行されたライセンスキーは、ファームウェアバージョン5.4.7以降では使用できなくなります。また、5.4.7-0.x、5.4.7-1.xで発行されたライセンスキーは、5.4.7-2.x以降では使用できなくなります。SES Readyライセンスを適用されている場合、ファームウェアバージョンアップの際にはご注意ください。詳細はリリースノートをご確認ください。
- ※19 LED ON/OFFボタンによって消灯可能 (エコLED)。
- ※20 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
- ※21 AT-SP10ZR80/I × 2個 使用時
- ※22 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。
- ※23 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよびVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。
- ※24 QSFP+4SFP+ブレイクアウトダイレクトアタッチケーブル「AT-QSFP-4SFP10G-3CU/AT-QSFP-4SFP10G-5CU」のSFP+側を使用することはできません。
- ※25 AT-SP10TW1をご利用の場合はアライドテレンス製品同士での接続のみサポート対象となり、他社製品との接続はサポート対象外となります。他社製品との接続が必要な場合は光ファイバータイプの「AT-SP10SR」、「AT-SP10LR」、「AT-SP10ER40/I」、「AT-SP10ZR80/I」のいずれかを用いて事前に検証を充分に行ったうえで、他社製品と接続を行ってください。
- ※26 AT-GS924MXではAT-PWRCBL-J01Rのみサポート。なお、電源ケーブル抜け防止フックとの併用はできません。

外観図

AT-GS924MX



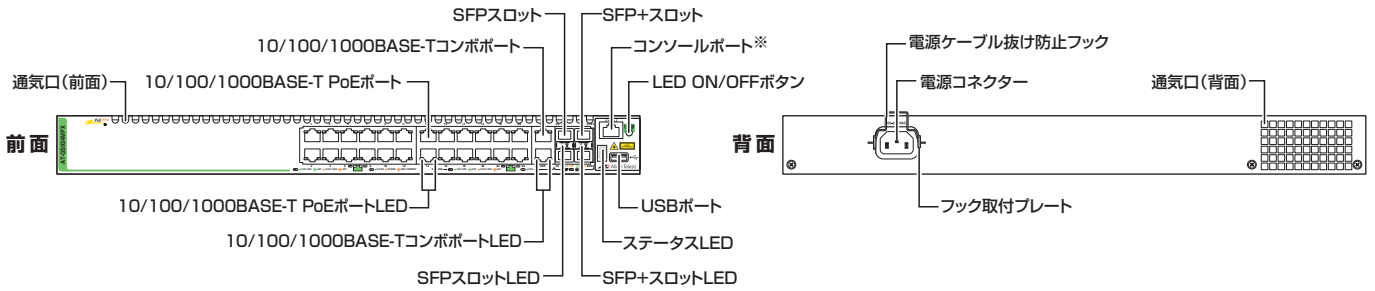
AT-GS948MX



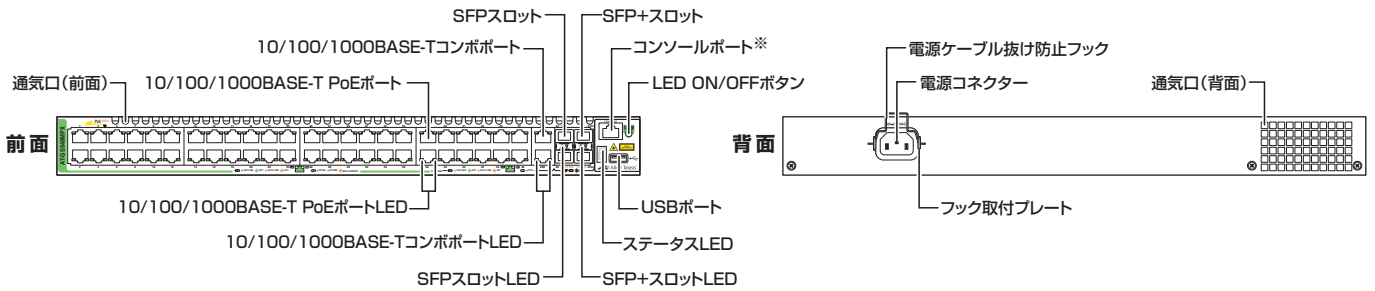
※ コンソール接続にはオプション (別売) のAT-VT-Kit3またはCentreCOM VT-Kit2が必要

外觀図

AT-GS924MPX



AT-GS948MPX

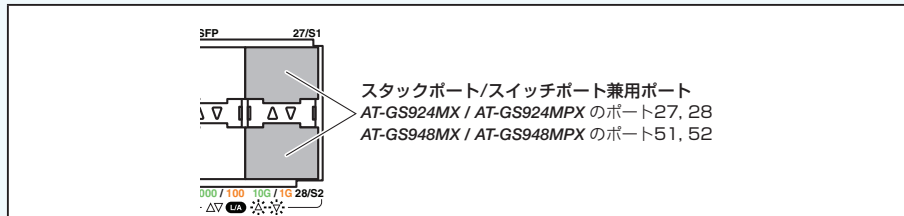


※ コンソール接続にはオプション（別売）のAT-VT-Kit3またはCentreCOM VT-Kit2が必要

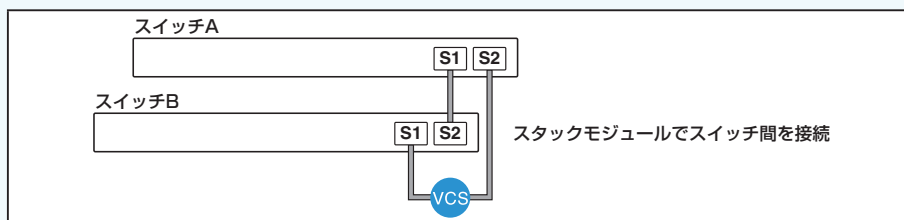
● SFP+スロットを利用したスタック接続（VCS）

本製品のSFP+スロットはスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選ぶことができます。CLI上で、VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります（VCS機能は初期設定で有効化されています。なお、有効・無効を設定変更するには、システムの再起動が必要になります）。

下図はAT-GS924MX



VCS機能有効時、末尾の2ポートはスタックポート1（S1）、2（S2）となり、複数のスイッチをリング状に接続するためのポートとして動作します。



※ VCSに関する詳細な情報は、弊社ホームページに掲載されています。ご使用の際は、必ずコマンドリファレンスの「バーチャルシャーシスタック（VCS）」をお読みになり内容をご確認ください。



安全のために

ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM, CentreNET, SwitchBlade, TELESYN, AlliedView, VCStackロゴ, EPSRingロゴ, LoopGuardロゴ, PoE plusロゴ, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, SecureEnterpriseSDNロゴ, AT-VA, AT-Vista Managerはアライドテレスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows, Windows Server, Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは外国為替及び外国貿易法にいう非常居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は



0120-860442 テレマーケティング

販売店

(月～金/9:00～17:30)

製品の詳しい情報は

ホームページ

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

アライドテレス株式会社

最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル

弊社ホームページ>>会社案内>>事業所一覧